

<目次>

●小児医療費助成制度は完全拡充を！

■福田市長、旧統一協会・徹底調査も関係を断つことも明言せず

▲ お知らせコーナー

☆9/22「やさしく強い経済学」講師・大門実紀史

☆9/25第8回「おひさまフェス・星空上映会」

☆10/10台風19号多摩川水害「3周年フォーラム」

☆10/29 ゆめシネマ「ウクライナと戦争を考える日」

★ 編集後記

●小児医療費助成制度は完全拡充を！

9月13日の市議会代表質問の中で、福田市長は「中学3年までの拡充」と「所得制限の撤廃」を明言！請願署名の提出団体「子どもの医療費無料化を求める連絡会」は、「追い風が吹いています。

1筆でも多くの署名を集めて完全拡充を目指しましょう。」と呼びかけました。

市議会で、この請願の唯一の紹介会派となった日本共産党市議団は、以下の談話を発表しました。（一部省略）

9月の市議会で、市長は「小児医療費助成制度について来年度の拡充に向けて検討を進める」と表明しました。日本共産党川崎市議団はこのことを心から歓迎するものです。

今回の市長提案は「近隣他都市の動向や持続可能性に配慮しながら」、制度拡充を早急に判断する」というものです。

助成対象年齢は、東京都・千葉県・埼玉県の合計212の市区町村のうち211市区町村が中学校以上で、小学校卒業までは本市のみであり、中学校卒業までの拡大は当然です。

また助成対象を「高校生卒業まで」とする市区町村は来年度には上記の1都3県で54%になります。

所得制限は、埼玉県では設けている自治体はなく、東京23区をはじめ横浜市や藤沢市などでも相次いで所得制限を撤廃、212市区町村のうち181自治体、85%が所得制限をしていません。

市長が廃止を見送った一部負担金についても、1都3県の市区町村のうち東京23区をはじめ67%が実施していません。

「近隣自治体を参考に」すれば、「一部負担金の撤廃」が当然です。

また市長の提案では「持続可能性」を強調し、財政状況に配慮した制度設計を示唆しています。

しかし、川崎市の財政状況は良好で全く問題はありません。

本市の「人口動態」では子どもと子育て世代が合計 6308 人（市の 2021 年人口動態調査）の転出超過となっており、その理由は「子育て支援施策が充実」していないことにあることが明白です。

子育て支援策の遅れが自治体の持続可能性を危うくしています。

「持続可能性」と言うのなら、市長は「一部負担金の撤廃」「中学卒業までの拡充に加え、高校卒業までを視野に入れた拡充の検討」に、直ちに取り組むべきです。

日本共産党市議団長・宗田裕之)

私たちの運動は、市長の提案でとどまるわけにはいきません。

一部負担金も撤廃させ、どんな家庭の子どもでもお金の心配なく医療を受けられるように、2 万筆の追加署名を成功させましょう。

■福田市長、旧統一協会・徹底調査も関係を断つことも明言せず

9 月 13 日、川崎市議会で日本共産党、後藤まさみ市議が代表質問を行いました。ここでは、政治の焦点となっている統一協会との関わりについて記載します。

後藤市議は、「旧統一協会は、布教そのものが違法と最高裁でも事実認定された反社会的なカルト集団です。

2012 年札幌地裁の「青春を返せ訴訟」判決では、第一に宗教であることを伏せた勧誘、第二に家族や知人との接触を断った状態での教化、第三に金銭提供の不足は信仰の怠りで救済されないとする教えなどを不正な布教活動と認定。

統一協会信者の布教活動そのものを違法としました。

こうした団体と市や市の関連団体が関りを持てば、「お墨付き」を与えることになり被害の拡大に市が手を貸すことになりかねません。」と述べた上で、3 点を質問しました。

- ① 統一協会との行政の関わりについての徹底的な調査。
- ② 市は統一協会を反社会的な団体だと認識しているのか。
- ③ 統一協会や関連団体との関わりは一切持たないと明言すべき

これに対する福田市長の答弁は、具体的な言質はなく、一般論で答えるものでした。市長の発言にそって紹介をします。

④ 行政との関わりの調査について

「行政が主体的に、特定の団体や人物を網羅的に調査することは慎重に対応しなければならないと考えています。」

⑤ 統一教会の認識について

「当該団体につきましては、社会的な問題が取り上げられていることは承知しておりますが、現時点において、法的に反社会的な団体であると指定されている事実はないものと認識しています。」

⑥ 今後の行政と統一教会の関係について

「行政が主体的に、特定の団体との関係を断つことや、差別的に取り扱うことは、慎重に対応しなければならないと考えています。」

※これで市民の命と暮らしを守れるのか。

市長は、〈行政としての調査も、今後の関係を断つことも慎重に取り扱う〉と答弁をしました。

また、「統一協会」という言葉は使わず、「当該団体」と言うだけでした。

世界平和統一家庭連合（旧統一協会）側からすれば、容認発言とも受け止められるのではないのでしょうか。

岸田首相でさえ、8月30日の記者会見では「当該団体との関係を絶つこと」を明言しました。

今回の市長発言の誤りを厳しく追及していくべきです。

▲ お知らせコーナー

☆「やさしく強い経済学」講師・大門実紀史

9月22日（木）18時30分

総合自治会館

<https://onl.bz/Sr3hEtc>

☆「第8回 おひさまフェス・星空上映会inかわさき2022」

9月25日（日）13時～19時

登戸駅より市立多摩病院先多摩川河川敷

14時～ステージイベント

17時50分より星空上映会

「月とあざらし」「わらしべちょうじゃ」「かぐやひめ」

入場無料

問合せ ohisama.hoshizora@gmail.com

詳細

<https://ohisamahoshizora.mystrikingly.com/>

☆台風 19 号多摩川水害「3 周年フォーラム」

10 月 10 日(月祝)18 時 30 分

総合自治会館

「水害対策の現状と課題」

講師：中山幸男

<https://onl.bz/9zMsW4p>

☆ゆめシネマ「ウクライナと戦争を考える日」2本立て+講演

「ピアノ・ウクライナの尊厳を守る闘い」

<https://ukraine-piano.com/>

「ドンバス 2016」

<https://www.chosyu-journal.jp/review/23294>

講演：(講師交渉中)「即時停戦が市民を救う」(仮)

10 月 29 日(土)時間未定(映画は午前午後 1 回ずつ)

かわさきゆめホール

入場料：一般 1000 円 障がい者 500 円 学生以下 200 円

当日 100 円増

申込み：044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

**☆いのちと暮らしを守り、安心・安全の町づくりをめざす
川崎市民大運動スタート集会記録ビデオを順次公開します。**

開会挨拶

<https://youtu.be/9-UEaCW1bic>

小児医療費無料化を求める闘い

<https://youtu.be/W2RrbwoyT64>

少人数学級を求める運動

<https://youtu.be/-2XWSpWqIUw>

巨大物流倉庫を作らせない闘い

<https://youtu.be/sYNY85thS54>

公契約条例の実効性を担保する運動

<https://youtu.be/l6kbNJOoQOs>

羽田新ルート問題についての訴え

<https://youtu.be/IND9SInxbCA>

高齢者支援事業の見直しでなく、拡充を求める取り組み

<https://youtu.be/CT8EADFir7U>

成人ぜんそく患者医療費助成条例の見直しでなく拡充を

<https://youtu.be/QaLXL0aqRs>

★ 編集後記

伊勢湾台風並みと恐れられた台風 14 号は、ここ川崎には大きな被害をもたらすことなくすみそう。

しかし、気候危機の表れとしての台風の巨大化や、豪雨の発生は一層顕著となり、水害対策の緊急性は一層強まっています。

2019 年の台風 19 号は、10 月 12 日でしたから、関東直撃の巨大台風がこれからやってくる可能性は否定できません。

2019 年の台風では、多摩川が増水しているにもかかわらず、川崎市が樋門を閉めないという暴挙によって、甚大な浸水被害が発生しました。

この問題では、今後は必ず閉めるというマニュアルが出来、水門に監視カメラや、遠隔操作設備など対策が進みました。

川崎区で浸水が発生した河口水門では、水門の上部を継ぎ足して対策済みです。

平瀬川、三沢川についても一定の対策が進められています。

一方、幸区で越水が発生した東海道線鉄橋下の低堤防は対策が取られていません。

ここは最高水位に達した時間がもっと長かったり、満潮と重なっていたら幸区、川崎区に甚大な水害を及ぼす可能性がありました。

国、JR とも緊急に協議して、しっかり対策を進めて欲しい。(Y)